われ、コロナ禍で家族をお呼びしない縮小化の中、最大限に企画を凝らしRACメンバーの活動なども加わり清水友好委員長の心配りの集大成となる友好行事となり、大変盛り上がりました。このようにたった2ヶ月に怒涛の行事ラッシュとなってしまいましたが中川幹事、各委員長を始めとした会員皆様のご協力により不安だらけのスタートだった半期を何とか終えることができました。残り半年気を緩めず幹事・理事・役員・会員様のお力をいっぱいお借りしながら精進して参ります。来年も何卒宜しくお願い申し上げます。私からの半期を振り返っての卓話とさせていただきます。ありがとうございました。

テーマ　「半期を振り返って」
卓話者　　中川静夫幹事

今年も半年が過ぎようとしています。と言っても7～9月の3カ月は休会で実際は10月からの開始で、今三か月がたっただけなのですが、今思えば例会の休会していた3カ月間はコロナ罹患者の増減ばかり気にしていたと思います。例会がいつになったら開催できるのか不安であり、会員皆様がどのように思っているのか、いろんなことを考えていました。
幸い9月末には少しおさまり、やっと10月の開催にたどり着くことができました。また、その前のまん延防止等重点措置の期間でありましたが、RACの例会が開催されました。大変警戒しながらの開催でフェースシールドの使用や広い会場で換気も充分に行なった上での開催でした。大変心配はしていましたが、無事に例会が出来た事にホッとしたことを思い出します。そのまん延防止等重点措置の期間中でもRACメンバーは地区の献血活動の為、啓発活動をして頂き、暑い中でありましたが、ご苦労かけたなと思っています。又、10月には長居競技場に出向き、セレッソ大阪のこころみでAEDの使用方法や人工呼吸器の使用方法を教えてもらい、安全に対しての実証実験にも参加してくださいました。
また、11月のリバーフェスティバルではエンドポリオの募金活動の声掛けやステージに上がってエンドポリオの啓発活動を行い、大阪難波ロータリークラブをアピールして下さいました。先日のクリスマス会には皆様と顔合わせが出来、大変うれしく思いました。顔も合わせた事ですので、ぜひRACの例会もご参加下さり非常に活気あふれるメンバーとふれあい若い方への指導や提案なども与えてあげてくださいませ。又、若い方々の考えもたいへん参考になることもあるので、奮って例会に参加して下さいませ。さて、本体である大阪難波RCの活動は緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の3ヶ月の待期期間を経て10月にやっと第1回例会を開催する事が出来ました。たまたま第1回例会がガバナー公式訪問と重なり、慌ただしい第1回例会となりました。又、時間も少し延長になりましたが、最後まで例会に参加下さり有難うございました。その後も定例理事会が開催され、理事役員の方々には本当に長時間に渡り有難うございました。再開後は色んな行事がとり行われました。友好行事としては、ゴルフコンペから始まり、前会長幹事慰労会、新入会員歓迎会、クリスマス忘年会。また、社会奉仕活動では道頓堀リバーフェスティバルでエンドポリオの募金活動や啓発活動、障がい者の授産品の販売応援、子供の居場所連絡会への冷凍庫と新米450kgの贈呈及び贈呈式、北御堂フードパントリーにて大規模食糧配布の手伝い等、行事が目白押しで委員の方々やご参加くださった方々には大変忙しい中、活動して下さり感謝の気持ちでいっぱいです。
私は入会して10年になるのですが、本当にわからない事ばかりの幹事であります。西原会長は、あまり褒めたくはないのですがロータリーの事や難波のメンバーの事、又、地区にも出向していますので人脈も多く大変経験豊かな人物と思います。しかし、私は会長の方針をあえて横から眺め意見しようと思っていました。この難波のメンバーは年齢層も広く自分の意見を持ってる方々が多いと思うので、会長方針と違った意見を出し話し合って後、皆さまに方針を発したほうがいいと、いざ反対の意見が出ても対応できるのではと思っていたからです。しかし、会長は私以上に動いて考え抜いた上での方針であった為、私の出る幕はございませんでした。委員長の方々や皆様には会長と幹事の言っていることが違うと思ったことも多々あったと思いますが、ご迷惑をかけて申し訳ございませんでした。ただ、今後も少し違った意見を出すかもしれませんが、決して反対するのではなく、こういう考え方もいるのではないか、そのうえで方針を決めていきたいと思います。
本当にこの3カ月間は皆様のご協力やご指導くださったお陰で無事進めれた次第であります。来年の残り半年間も会長はじめ理事役員の方々と協力しながら運営していきたいと思っていますので、どうぞ皆様の協力とご理解を賜りますようお願いしまして、幹事挨拶とさせて頂きます。

これからの予定

1月13日（木）新年例会・定例理事会　　1月20日（木）例会
1月27日（木）例会　　2月 3日（木）例会・定例理事会

２０２２．１．１３　№２１３１

WEEKLY BULLETIN

OSAKA NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

（国際ロータリー会長　シェカール・メータ ）
２０２１-２０２２年度　国際ロータリーのテーマ
「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」
（第2660地区ガバナー　吉川秀隆 ）

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー４つのテスト
１月１３日（木） 新年互礼会 「年男の抱負」	１月２０日（木） テーマ 「広報・ホームページ委員会の取り組みについて」 卓話者　中川博之広報HP委員長	言行はこれに照らしてから １．真実かどうか ２．みんなに公平か ３．好意と友情を深めるか ４．みんなのためになるかどうか

第１３回例会　　本日のプログラム

開　会　（点鐘）　通算第２１３１回例会
・国　歌　　「君が代」
・お正月の歌　　「一月一日」
・ロータリーソング　「奉仕の理想」
・ソングリーダー　　岡本真一郎会員
・来客紹介　　友好委員

会　食
・歌とピアノ　　木下裕子
・会長報告　　西原芳博会長
・幹事報告　　中川静夫幹事
・委員会報告　　各委員長
・出席報告　　出席委員
・ニコニコ箱報告　　ＳＡＡ
・卓話　年男の抱負

♪　一　月　一　日

年の始めの　ためしとて
終わりなき世の　めでたさを
松竹たてて　門ごとに
祝おう今日こそ　たのしけれ

ニコニコ箱報告	
前回の合計	￥７０，０００
本日までの累計	￥１，２９０，０００(64%達成)
12月末の予算額	￥２，０００，０００

出席報告		
前回　１２月２３日		3週前 １２月2日
会員総数	５９名	出席免除を除く ＭＵを含む 修正出席率80.39％
出席会員数	３５名	
出席率	７０％	

大阪難波ロータリークラブ　　例会日時　毎週木曜日　１２：３０
創立　１９７６年８月５日　　例会場　スイスホテル南海大阪7階　芙蓉の間
会長：西原芳博　幹事：中川静夫　会報・雑誌委員長：赤坂　宏　事務局：安部亜希子
事務局　〒542-0076　大阪市中央区難波5-1-60　スイスホテル南海大阪５階
TEL　06-6632-3956　FAX　06-6632-3957　e-mail　osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

年頭のご挨拶

会　長　西原芳博

新年あけましておめでとうございます。
年末の半期を振り返ってでも申し上げましたが、昨年7月から9月はコロナウイルス感染拡大により例会休会、10月から12月はコロナウイルス減少に伴い例会を再開し、立て続けに奉仕と親睦行事を繰り返し行う事となりました。会員の皆様には大変慌ただしい状況下でロータリーライフを送っていただきましたが、多大なるご協力をいただき、半期を終えることができました事、感謝にたえません。
さて、今年は昨年末の流れで積極的な活動をと考えていましたが、ここ数週間で一気に雲行きが怪しくなった新型コロナウイルス オミクロン株の勢いが増し、各地でパンデミックが起こる中またしても我々の頭を悩ます状況となってきております。3月から4月に行う予定の職業奉仕フォーラムやクラブ研修に位置付けられる「ロータリーを知りましょう会」、三姉妹合同例会は中止になりましたが、当クラブが今年度ホストである三姉妹共同国際奉仕、3月20日ごろ開催予定のチャリティーマラソン、友好行事も2月～3月のグルメ会やゴルフコンペ、未定ではありますが春の桜の会などを予定しております。さらに6月の打ち上げ家族旅行など予定が目白押しの中、またしても気を揉むもどかしい時期を過ごすことになりそうですが、今できることを昨年と変わらず粛々と行っていく事が、私たちに与えられた使命であります。
さらに2660地区があげております、地区中期五か年目標も今年度が最終年度となります。
1.クラブのサポートと強化
2.人道的奉仕の重点化と増加
3.公共イメージと認知度の向上
我がクラブは歴代会長のもと、会員様のご協力を得て知恵を絞り労力を費やし、大方の目標を達成しました。
2022年1月から6月すべきことは襷を最後まで繋ぎ、次の中長期へ、紡いでいくことです。
下半期も上半期同様に中川幹事、理事役員の皆様と共に、会員の皆様のお力を目一杯お借りし、精進して参ります。引き続きのご協力賜りますよう、よろしくお願いいたしまして、年始の御挨拶と致します。

前回の記録　第１２回　１２月２３日（木）

★来客紹介：ありません。

★会長報告：西原会長
1. 本日は、今年最後の例会となります。この後「半期を振り返って」のテーマで中川幹事と卓話させて頂きますのでよろしくお願いします。

★幹事報告：中川静夫幹事
1. １月１３日例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので、理事役員の方はご出席下さい。
2. 地区大会で昨年度の表彰がされ、感謝状が届きましたので、昨年度会長の川口直前会長前へお越しください。
「意義ある奉仕賞」
「ロータリー賞」
「100ﾊﾟｰｾﾝﾄ『Every Rotarian,Every Year』クラブ
「100ﾊﾟｰｾﾝﾄ『ロータリー財団寄付』クラブ
「End Polio Now」
3. 米山奨学会への寄付の表彰をさせていただきますので、お名前を呼ばせて頂きますので前の方へお出ましください。早栗会員、中川博之会員、宮本会員お願いいたします。
4. 新入会員の吉田啓介会員の住所録を入れさせていただきました。緑の手帳に貼ってご活用下さい。
5. 髙島屋様より、現代書道二十人展のご招待券をいただきましたので、必要な方は受付に置いておりますのでお持ち帰りください。
6. 来週12/30と再来週1/6は休会となります。次回の例会は1/13です。また、事務局ですが、12/28～1/5まで冬休みをいただきますので、緊急のご連絡は中川幹事までお願いいたします。
7. 持ち回り理事会の議事録を週報に掲載させていただいておりますのでご確認ください。
8. 下期会費減額のお知らせをポスティングしておりますのでご確認ください。

★委員会報告
◇国際奉仕委員会：松田委員長
三姉妹合同例会中止のお知らせに対するお返事のご紹介（台中西南RCより）

★ニコニコ箱報告：宮本会員
西原芳博：本日、半期を振り返っての卓話、宜しくお願い致します。
中川静夫：今年一年、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願いします。
北橋茂登志：家内誕生日にきれいなお花頂戴し、ありがとうございました。
伴井敬司：本年もお世話になりました。来年もよろしくお願いします。皆様良いお年を。
石川益三：入会記念日を迎えました。遠藤さんと大地さんの紹介を頂きました。初めて電話で声を聞いたのは山田さんでした。とても楽しいクラブに入れて感謝です。
久保幸一：半期ありがとうございました。
徐　正萊：忘年会欠席お詫び。
林　博之：今年一年ありがとうございました。来年もよろしくお願い致します。
米澤　勉：今年一年、ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。
森田　納：皆様よいお年をお迎えください。
三島敏宏：お陰様で食料提供会が無事行われました。皆様ありがとうございます。米澤さん、写真ありがとうございます。
岡本真一郎：メリークリスマス！Thanks.Christmas Eve, another one day.

★卓話　テーマ　「半期を振り返って」
卓話者　西原芳博会長

今期2021-22年度も半年が経ち半期を振り返って挨拶させていただきます。今年年末に差し掛かり今でこそ新型コロナウィルスの拡大が抑え込まれている所ではございますが今期の始まり7月8月はコロナの第5波が急激に拡大した時期でした。快くスタートを切りたい時期に非常に厄介な壁にぶち当たることとなり、中川幹事や理事の方々と毎日のようにロータリー活動のあり方を電話で話し合いました。そんな中、第１回例会の開催に対する賛否は、どこまでいっても結論が出ませんでした。スタートの例会はコロナ感染対策をし、開催すべきと言う意見と逆に社会情勢の交流や会員様個々の会社におけるトップの立場を考えても、大人数の会食や例会には、とてもではないが参加できない。総合的に判断し少しの間我慢してコロナが落ち着きを見せてから気持ちよく皆が顔を揃える状況で例会再開したいと言う思いから休会に踏み切りました。その判断後すぐに緊急事態宣言が発令され結局7・8・9月の3カ月間休会を余儀なくされました。この間は週報の代わりに臨時報を毎週発行し現場のRIや地区の動きを、私が情報を得た限りお伝えしてきました。7月には日本でオリンピックも開催される中、大阪難波ロータリークラブだけが足を止めても良いのかと言う葛藤にさいなまれる時期もございましたが、その都度、電話や事務局を通じてのメッセージや意見を聞き谷口元会長を始めとした歴代会長の方々の優しいお言葉に救われましたし、心安くしている同年代の仲間からの助言もたくさんいただきました。またリモートで行われた理事会においては対面ではない画面越しの会議でしたが理事の方々からも次々に忌憚のない活発な意見が飛び交いました。この理事会メンバーとなら10月からも前に進めると自信につながりました。例会スタートの度重なる変更により赤坂クラブ会報雑誌委員長には臨時報などの対応、本間出席プログラム委員長には卓話の微調整とお二人にはリアルタイムでスピーディーな動きにより助けていただきました。社会奉仕委員においては当時の上杉社会奉仕委員長が一身上の都合により8月に退会されたため同級生でもあり素晴らしいロータリー精神をお持ちの三島会員に無理を言い委員長になっていただきました。三島さんは三姉妹委員長や副SAAを請け負っていたため本来であれば、無茶なお願いですが中止になる三姉妹共同国際奉仕の姉妹国への対応は、その道のエキスパートである松田国際奉仕委員長が中心になって動いていただくようお願いし、三島さんには地区補助金を含めた社会奉仕活動に重きを置いてもらえるご承諾を頂き、10月の活動計画の発表時には三島委員長が委員長になる依頼に対し快諾していただき嬉しく思いました。9月の準備時間、清水友好委員長が凄まじい動きをしてくれました。毎日のように松田・中川副委員長とやりとりを重ね、時には会場予定地に中川幹事と一緒に下見に行ったり何度となく会食しながら打ち合わせを進めていただきました。時期を同じくして青少年奉仕ローターアクトは、6月末の第1回例会を皮切りに7月は例会を2回行いましたが8月9月が休会、せっかく走り出したローターアクトでしたが会員同士が会えない時期が続き、彼らの距離を縮めるのが困難な中、福田RAC委員長の圧倒的な統率力や中川博之委員のRAC会員への献身的な気配りで動きだしたRACがすぐに崩壊しかけない時期をこのお二人がなんとかつなぎとめると言う、目に見えない役目を果たしていただいた事を皆様にご報告させていただきます。10月20日に伏尾ゴルフ倶楽部において友好ゴルフコンペが行われました。大地元会長を始め新入会員の坂本さんや日髙さんも参加いただきました。例会参加が５回しかない中、ゴルフコンペは春に続いて2回目と言うイレギュラーな経験をさせてしまいました。ゴルフの後は西野元会長のお店で成績発表及び会食を行いましたが大阪難波ロータリークラブとしての久々の会食だったため会員皆様の思いが溢れかえり清水友好委員長中心にかなり盛り上がったと記憶しております。11月4日には直前会長幹事慰労会が行われました。川口直前会長、福田直前幹事には長らくお待たせしてしまい申し訳ございませんでした。とは言え、お二人を称えるこの会をできたことに感動を覚えました。街の中ではコロナ禍で思うように活動ができなかったにもかかわらず、その時にできる数多くの奉仕をこなされたお二人への称賛の声がやみませんでした。お二人に少しでも近づけるよう中川幹事と思いを再確認する場となりました。11月18日にはホテルモントレにて新入会員歓迎会が行われました。会員様のプロフィールなどをスクリーンに映し出して紹介したり、歓談中には大阪難波ロータリークラブの過去の活動の写真をスクリーンに流したりと食事やプランニング以外でも退屈させない会員様全員へのおもてなしの心が感じられるフレッシュな企画だったと清水友好委員長の元、プロデュースしていただいた中川副委員長には改めて感服させられました。11月13・14日には道頓堀リバーフェスティバルが行われ当クラブとしてもキッズダンスへの協賛に加え、ブーススペースをお借りし社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会の下、身障者の方が手作りした物品の販売のタイアップやエンドポリオへの募金活動をRAC会員と共に行いました。数年前から行われている、この道頓堀リバーフェスティバルと言う社会奉仕活動は我々大阪難波ロータリークラブにとっても地域への密着性、RIが掲げているエンドポリオに対する社会貢献、身障者の職業を提供する団体への協力と言う弱者救済の視点も持ち合わせ、さらにRACの奉仕に関わる場を提供し、青少年奉仕の意味合いを有すると言う数方面の奉仕へのアプローチを実現化したもので我々が目指す奉仕のスタイルに合致した素晴らしい企画で今後も大切に継続していくべき活動であると実感しました。11月24日には地区補助金を使用した活動として浄土真宗本願寺津村別院様が所持する北御堂にて、千田元会長にジョイントしていただいた中央区役所からのご紹介で大阪市中央区社会福祉協議会様中央区子どもの居場所連絡会様とのコラボレーションにより中央区に所在する、子供食堂数団体がボランティア等でいただいた食材を保管するための冷凍庫と福島県産米450キログラムを地区補助金を通じて提供しました。福島県米については長時間保存できますし、また被災地の食材を使用すると言う目的付けを夏元会長から助言をいただき実現いたしました。この奉仕は三島社会奉仕委員長が前任上杉元会員から一から引き継ぎこの複雑化した数団体との関わり合いを見事に取りまとめていただいたことに、改めて敬意を表したく存じます。クリスマス忘年会が12月9日に行

2022年　寅年男の抱負

千田忠司 会員
昭和25年5月1日

新年あけましておめでとうございます。ロータリー歴27年、今年寅年生の72歳です。コロナ禍で生活様式が一変し大変厳しい時が2年続いてはおりますが、アフターコロナを見据え前向きに目標を持って皆様頑張りましょう。会員の皆様引き続きよろしくお願い申し上げます。

松浦孝尚 会員
昭和37年11月25日

昭和３７年生まれの私は、本年度還暦を迎える年になりました。
節目の年を迎えるにあたって、小さな会社ですがしっかりした体制作りをしていき、次の世代に継承する準備をしていきたいと思っております。また、ロータリアンとして一つでも多く世間の役に立つことが出来るよう心がけ、健康には留意し、事故また怪我のないよう気をつけたいと思います。

荒山義雄 会員
昭和37年5月17日

新年明けましておめでとうございます。
還暦です還暦です還暦です。
大事な事なので三回言いました。
生まれ変わり、人生の節目としてこれからも全てに邁進して行く所存でございますので、皆様ご指導ご鞭撻のほど今後ともよろしくお願い申し上げます。

坂本正樹 会員
昭和61年10月12日

新年明けましておめでとうございます。昨年の4月に入会させて頂きまして、私自身3度目の年男となります。昨年は、コロナにより例会に参加できず悔しい思いをしましたが、今年は様々なロータリーの活動を積極的に参加して行きたいと思っております。皆様、今年もどうぞよろしくお願い致します。

夏　明義 会員
昭和25年5月27日

明けましておめでとうございます。
昨年も2年目のコロナ禍があり、仕事を含め全ての行動変容を余儀なくされました。
10月頃から緊急事態宣言が解除になり、例会も出来るようになりましたが、再会を喜んでいるのも束の間、変異株のオミクロン株なるものが出現し、全国的に新規感染者が急激に増加しています。ワクチンや治療薬もできるという矢先の事でありますが、社会機能が混乱しない行動を取らないといけません。ウイルスと人類との戦いは歴史を見れば5年以上は続くものと思われますが、将来は無くならないまでも、風邪のようになるかもしれません。しかし、それまでが大変で、個々人の努力はするとして、ここはひとつ医学、医療の力を信じるしかないのかもしれません。
最近は、年のせいかもしれませんが、昔のことをよく思い出します。それに加えて将来の事も考えるようになりました。自分に与えられた余生を考えるのも悪くない気がします。決して後ろ向きではなく、一年一年の目標を大事にしてロータリーライフを楽しみたいと思います。
今年もよろしくお願いいたします。

原田直己 会員
昭和25年8月24日

井上満昭 会員
昭和37年12月18日

数井康幸 会員
昭和37年10月5日

１月　会員誕生日　おめでとうございます

1月 1日　北橋茂登志会員
1月 8日　北田好文　会員
1月27日　比嘉廉丈　会員
1月 2日　白野陽一　会員
1月17日　林　博之　会員

１月　会員夫人誕生日　おめでとうございます

1月 3日　徐　正萊会員夫人　太佳子様
1月14日　坂本正樹会員夫人　千浩　様
1月19日　山田誠一会員夫人　泰子　様
1月 9日　長田博文会員夫人　久美子様
1月18日　長崎武会員夫人　智美様
1月31日　井上満昭会員夫人　美由紀様

地区大会にて2020-21年度の表彰が行われました。
川口直前会長に感謝状が贈られました。

米山奨学会特別寄付をされました
第４回米山功労者の早栗義文会員
第１回米山功労者の中川博之会員　宮本倫明会員

「ロータリー賞」

「意義ある奉仕賞」

End Polio Now

左「100ﾊﾟｰｾﾝﾄ『Every Rotarian, Every Year』クラブ
右「100ﾊﾟｰｾﾝﾄ『ロータリー財団寄付』クラブ